

# エルサルバドル政治経済月報

(2019年4月分)

2019年5月  
在エルサルバドル大使館

## [大使館のビジョン]

エルサルバドルとの友好親善関係を増進し社会発展に貢献しながら日本の国益と国際公益の向上を目指す。

## [大使館のミッション]

1. 日本の平和や繁栄を守るための外交政策の構築と実行。
2. エルサルバドルの世論に働きかける広報・文化事業の推進。
3. 在留邦人の生命と財産の保護，日系企業の活動支援。
4. 政治経済情報の収集・分析。
5. 自立的かつ持続的なば開発への協力。
6. 服務規程を遵守し，風通しの良い職場環境の維持。

## 外交

### 1. 梨田外務省国際協力局長のエルサルバドル訪問

1日～3日，梨田外務省国際協力局長がエルサルバドルを訪問し，ブケレ次期大統領等と会談し，我が国の対エルサルバドル援助の方針に関し意見交換を実施した。

### 2. ブケレ次期大統領のドミニカ共和国訪問

15日，ブケレ次期大統領はドミニカ共和国を訪問し，メディーナ・ドミニカ共和国大統領，バルガス同外務大臣等と，エルサルバドルへの観光誘致などのテーマについて会談した。

### 3. ブライヤー米国務次官補のエルサルバドル訪問

22日～23日，ブライヤー米国務次官補がエルサルバドルを訪問し，ランダベルデ司法・公共治安大臣，マガリン在外同法担当外務次官，コト国家文民警察長官，マロキン移民局局長等と，治安，ガバナンス，エルサルバドル人移民の問題，ギャング撲滅への取り組み等に関する米・エルサルバドル二国間協力関係について協議した。

## 経済

### 1. 台湾とのFTA破棄の動向

4月9日，最高裁裁判所憲法審判部は，外務省による台湾との自由貿易協定（FTA）の破棄に

関して、当国砂糖生産者協会が行った違憲の申立を棄却する決定をした。同棄却の決定は、憲法審判部が、争いとなっている条約の破棄の根拠は当該条約の規定にもとめられるべきものであり、憲法にはその根拠は無いため、憲法審判部には当該申立を審理する権限は無いと判断したためである。なお、砂糖生産者協会は、上述の申立とは別に、台湾との FTA 破棄に関する憲法上の保護申立を行い、憲法審判部は同申立に基づき同 FTA 破棄の仮差止め請求を命じており、未だ審理が続いている。

## 2. 税関統一開始の動向

(1) エルサルバドル輸出業者は、グアテマラ、ホンジュラス、エルサルバドル間における税関統一が5月から正式に開始されることを期待している。

(2) 中米単一申告書 (FYDUCA) がチャラテナンゴ県エル・ポイ国境税関所に設置される予定であり、これにより、一日平均 300 のコンテナの流通の手続の簡略化に資するとみられている。

(3) すでに 2018 年 12 月より対輸出ルール 4 つ、対輸入ルール 3 つをエル・ポイ国境に適用開始している。

(4) FYDUCA の試験的運用を実施したところ、商品の搬入に要した時間は 5~10 分であった。通常は同じプロセスで 6 時間を要しており、新システム導入により 97%もの時間削減が実現した。

## 3. 手続改善法施行による国家手続登録システムの試行開始

(1) 2018 年 12 月 12 日、手続改善法が国会で可決され、2019 年 4 月 9 日に施行された。手続き改善機構 (OMR) は、国家手続登録システムの機能評価を目的に本年 5 月 2 日より試験的運用を開始すると発表した。試用期間は 2~3 ヶ月を目処とし、7 つの機関を対象とする。

(2) 手続き改善法は市民および企業の行うあらゆる手続きを簡略化し、透明性を持たせることを目的としており、手続きの公開義務も設けている。

(3) 国家手続き登録システムの運用は、最初に各省庁を含む行政機関および下部組織の手続きに適用された後、立法機関、司法機関および地方自治体での手続きに適用される。

## 4. 2018 年輸出企業ランキング

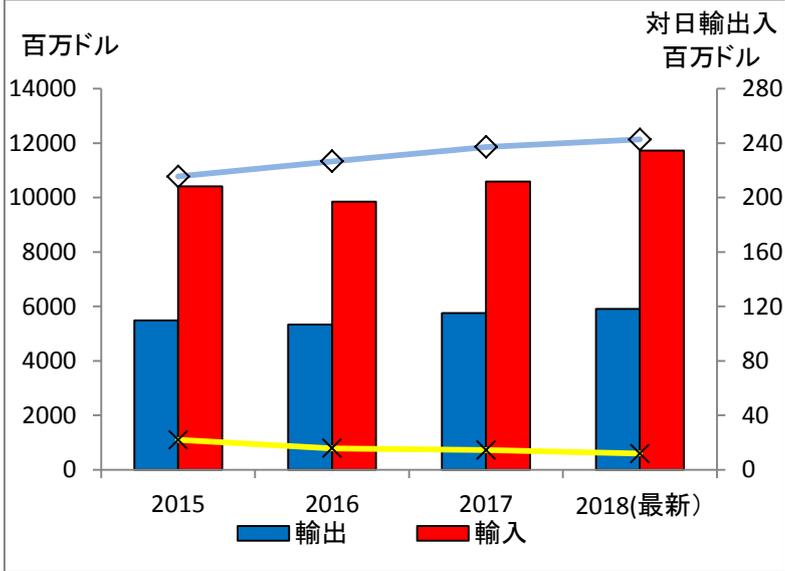
(1) 24 日、エルサルバドル製造業協会 (ASI) およびエコノミスタ紙は、第九回主要輸出企業授賞式を開催した。

(2) 国内地元産業 9 分野のうち、最も優秀な成績を残した輸出企業トップ 10 を発表した。

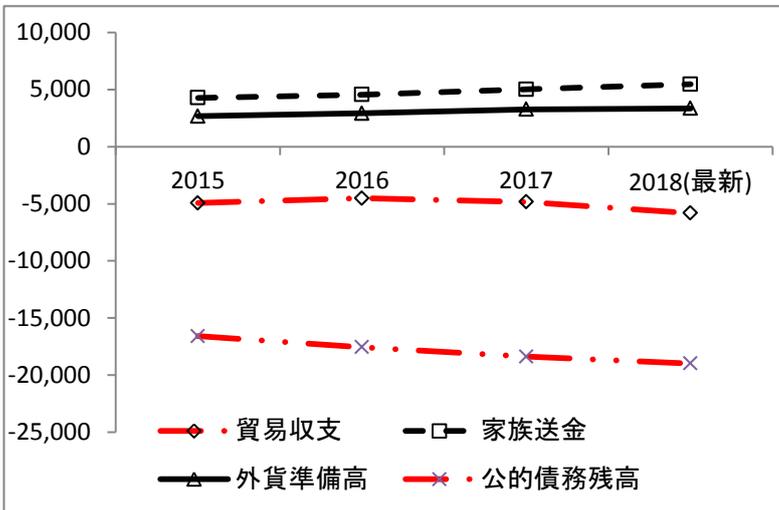
(3) ASI の報告によると、2018 年における地元産業の輸出総額は 57 億 2,740 万米ドルに上った。

(4) 以下輸出企業トップ 10

- 1) HanesBrands (2018 年輸出額 8 億 3,000 万米ドル、国の輸出額のうち 14%を占める)
- 2) Fruit of The Loom
- 3) AVX Industries
- 4) Intratex de El Salvador
- 5) Livsmart
- 6) Grupo Clavo
- 7) Kimberly Clark
- 8) Productos alimenticios Diana
- 9) Galvanissa
- 10) Sigma Q

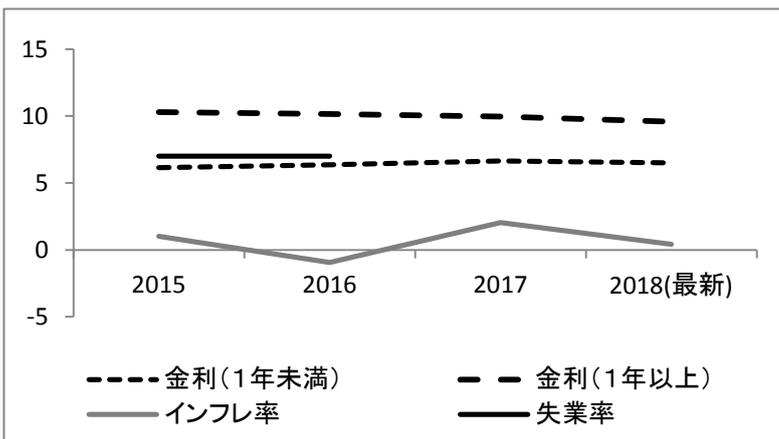


・2018年の輸出額は59億447万ドルとなり、前年比で2.5%増加した。輸入額は117億2580万ドルとなり、前年比で8.7%増加。



・2018年家族送金額は54億8,210万ドルとなり、過去最高額を記録。その内、米国からの送金は全体の93%を占めていた。

・貿易収支は-58億2,134万ドルとなり、貿易赤字は前年比で20.5%増加した。



2018年のインフレ率は0.43%となり、前年と比較し、1.61ポイント減少した。

## 治安

### 【主要事件・報道】

1. 4月3日付、国家文民警察（PNC : Policia Nacional Civil）は、2019年第1四半期（1月1日から3月31日）の犯罪に関する統合データにおいて、同期間中79人の女性殺人事件があったが、昨年の同時期の113人と比べ、30.1%減少していることを発表した。
2. 4月26日付、金曜の深夜、Calle Cirunvalacion 通りおよび Pasaje 12 通り、メキシコ大使館前で空に向けて拳銃を数発撃っていた若者が、通報で駆けつけた警察官に逮捕された。この件についての怪我人の発生はなかった。
3. 4月29日付、PNCによると、国内の殺人事件の増加は、「マラ・サルバトルーチャ」の4つのグループが「他のグループを吸収し始めた」という事実によるものと発表。  
「組織再編とギャングメンバーの粛正」によるもので、今年は4月13日から同月26日金曜日間で殺人事件が増加したが、今年初めから今月26日間の殺人事件の総数（被害者993人）は2018年の同じ期間（同1,218人）と比較して18%減少したが。一方、4月28日には、国内の異なる箇所、警察官3人と軍人2人が殺される事件も発生しており、4月30日時点の警察の発表によると、2019年は既に17人の警察官が殺害されたとのこと。  
なお2018年には32人の警官が殺害され、さらに2人の治安部隊の管理職員、17人の軍人、3人の刑務所管理人、1人の国家公安アカデミーの学生が殺害された。  
当局はこれらの殺人事件の大部分はギャングによるものと発表した。

### 【主な邦人居住地区及び観光地治安情報】

1. 4月中のサンサルバドル市サンベニート地区及びエスカロン地区の殺人発生件数は0件。

【観光地等における危険度レベル】

レベル1: 十分注意区域

レベル2: 不要不急の渡航中止区域

国立ダビッドJ・グスマン人類学博物館(MUNA)	サンサルバドル旧市街
ティン・マリン児童博物館	平生三郎公園
エルサルバドル美術館(MARTE)	サンサルバドル市の動物園
プレシデンテ劇場	プエルタ・デル・ディアブロ
サンサルバドル近郊のゴルフ場	
ベンゴア球場	
サンサルバドル市国立民芸品博物館	
クスカトラン・スタジアム	
サンサルバドル火山	
カフェタロン・フットサルコート	
ラ・リベルタ県のビーチ	
イロパンゴ湖	
サンタテクラ旧市街	
コアテペケ湖	
セロベルデ自然公園	
エル・ピタル山	
ラ・パルマ市	
サンタ・テレサ温泉	
スチト旧市街	
サン・アンドレス遺跡	
タスマル遺跡	
カサ・ブランカ遺跡	
サンタ・アナ旧市街	
オロメガ湖	
エル・ホコタル湖	
サン・ミゲル市	
オロクイルタ市	

**治安統計**  
**主要11犯罪（4月）過去2年の状況**

